

# 家庭・地域と連携した信頼される学校づくり

## 越前町立糸生小学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	4回
中学校区を単位とした協議会	4回
地域及び家庭への学校公開	11回(のべ)11日

#### (2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	10人
授業ボランティア(含:低ボラ)	62人
登下校支援ボランティア	600人
その他(祖父母の会)	45人

#### (3) 特色ある活動

テーマ「キャリア教育」

#### 具体的活動内容

① 4年キャリア教育…国語「仕事リーフレットを作ろう」、総合的な学習の時間「二分の一成人式をしよう」を通して

国語「仕事リーフレットを作ろう」では、児童が地域の様々な職業を知り、興味を持つこと、地域の商店、施設などを訪問し、見学して分かった仕事の内容を写真と文章で表現したリーフレットを作成することをねらいとして取り組んだ。まず、地域にはどんな商店や施設があるかを調べ、児童の希望により、地域にある保育所・リサイクル会社・図書館・料亭・ラジコンレース場・老人福祉施設・花店を取材することになった。地域の商店や施設は気軽に取材に応じてくださり、仕事の内容や手順、工夫していることや大変なことなどを児童に分かるように丁寧に教えてくださった。児童も意欲的に取材することができ、実際にそれぞれの仕事に触れたことにより、取材メモや写真をもとに商店や施設の仕事内容がよく分かるリーフレットを作成することができた。また、児童は、地域の方との関わりの中で今まで気づかなかった地域の仕事のすばらしさに気づいていた。



この学習の後、児童が将来の職業について夢や希望を持つことにつなげようと、総合的な学習の時間に「二分の一成人式をしよう」という単元に取り組んだ。先ずこれまでの自分について振り返り、どのような点で成長したかを確かめた。その後、中学校、高校、大学、就職、30代、40代…などと節目ごとに将来の設計図を書かせた。設計図を書くことにより、児童は、トリマーや野球選手になりたいなど漠然と描いていた将来の夢について具体的に考えることができた。また、「夢カルテ」を活用することにより、児童一人ひとりが、将来なりたい職業や、夢を実現するためには、どんなことに挑戦したらよいかについても考えさせた。この学習は、どの児童も自分の将来について真剣に考える良い機会となった。

#### 成果と課題

- ・地域の商店や施設を実際に訪問して取材することにより、様々な職業に触れ、地域の方とコミュニケーションを図ることで、仕事の大変さやすばらしさに気づくことができ有意義な体験であった。
- ・4年生の児童は、まだ漠然と将来に対する夢を描いているだけなので、今後継続的にキャリア教育に取り組み、それぞれの年代に応じて何をすべきか考えさせることで将来に夢を抱ける子を育てていきたい。